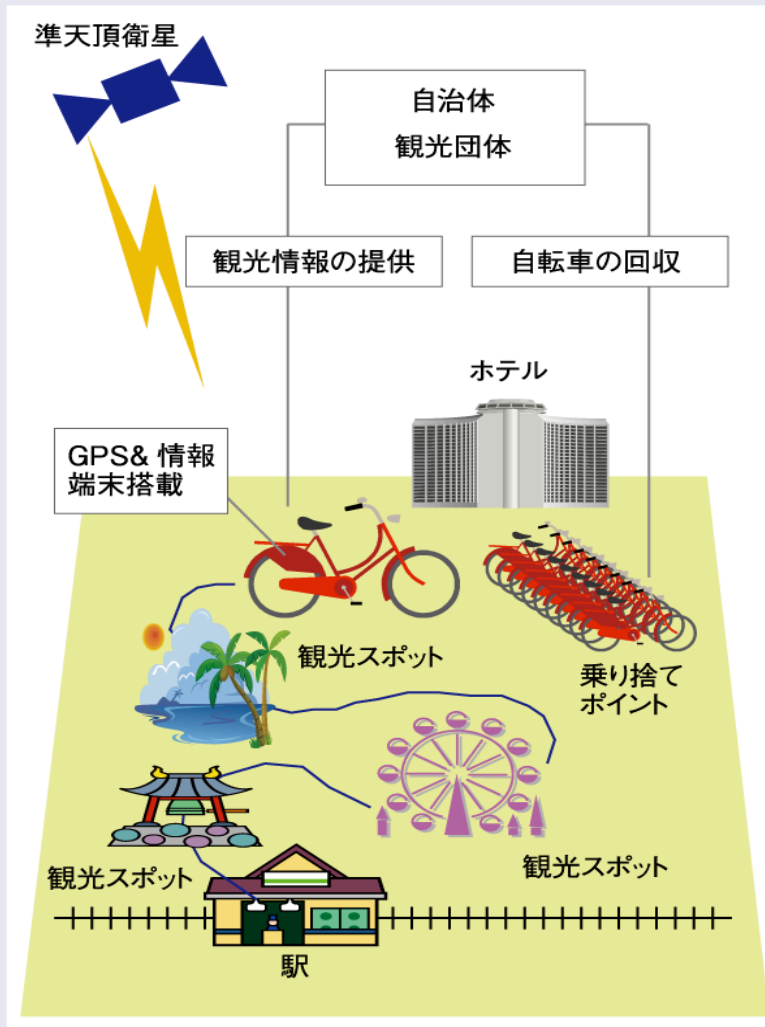


優秀賞 「観光地サイクリング」

鈴木 麻衣 様

レンタル自転車にGPS及び情報端末を
搭載し位置情報を観光に利用する。



■対象(誰のためのシステム)

サービス利用者:観光に訪れた人

サービス提供者:観光地の自治体/観光団体

(左図は、複数の観光スポットが存在する、駅を中心とした観光地を想定)

■メリット(何がうれしいのか)

利用者

1. 情報端末によって観光情報を取得できる

2. 「乗り捨てポイント」によって、返却の手間が解消される

自治体/観光団体

1. 利用者の行動履歴から、観光地の整備や情報提供を最適化できる

2. 位置情報を用いて、自転車の回収を効率よく行える

■市場規模/前提条件

・自転車利用料及び観光施設などからの宣伝料で運営費を賄う

・安価かつ全世界共通GPSチップが必要

・自転車利用の安全に配慮した情報端末の開発

・常時使用可能な準天頂衛星配置(3機以上)

■補足説明

・レンタル自転車にGPSを搭載し、位置情報を取得

・取得された位置情報の活用

・レンタル自転車利用者:

・近くの観光情報(観光スポット/飲食店等)を取得

・もちろん道案内なども

(以上の2項目は「街のコンシェルジュサービス」と同様)

・「乗り捨てポイント」の利用

・自治体/観光団体

・利用者の移動履歴などから、観光地の整備や情報を改善

・自転車の効率的な回収

・乗り捨てポイントの設置

・ホテル前などに「乗り捨てポイント」を複数設置しておく

・GPSがあるので「乗り捨てポイント」以外に放置されても回収可能

・市場規模/前提条件等について

・「自転車利用料及び観光施設等からの宣伝料で運営費を賄う」

とあるが、運営費を賄えない場合、情報端末をなくし利用者のメリットを「乗り捨てポイント」の利用のみにする手もある。その際にも、自治体/観光団体のメリットは変わらない。